

復興金融ネットワークメンバーによる復興に関する取組事例

団体名	公益財団法人 三菱商事復興支援財団	
取組名称	ふくしまワイナリープロジェクト	
取組概要	<p>福島県への新規サポートとして、特産品である果物の生産から加工、販売までを一体的に運営する新たな事業モデルを構築し、農産物や地元ブランドの付加価値を高めることを目指し、平成27年2月にプロジェクトを開始した。</p> <p>郡山市と連携協定を締結し、果実の醸造・加工施設「ふくしま逢瀬ワイナリー」を建設。地元農家が生産する果実を使ったワインやリキュールを製造・販売している。</p> <p>平成27年春には、郡山市の協力の下、農家を公募し、福島県内でほとんど植栽されていなかったワイン用ブドウの植栽を開始した。</p>	<p>[事業の全体像]</p> 
取組成果	<p>平成28年3月に第1弾の商品を出荷。現在は、シードル、ロゼのスパークリングワイン、リキュール(桃、梨、リンゴ)の商品ラインナップを揃える。ワイン用ブドウを栽培する農家は、当初の4軒から13軒に増え、平成30年秋には、プロジェクト発足時に植えたワイン用ブドウの初収穫を迎え、醸造を開始。平成31年春に「郡山産ワイン」を出荷する予定。</p> <p>平成28年冬にワイナリー内に開設したワインショップ、および平成29年から開始した地元と連携したイベントを含め、平成30年までに来場者は1万人を超え、地元の交流人口拡大に寄与している。</p>	 <p>主力商品のシードル（CIDRE2016）。「FUJI CIDER CHALLENGE 2018」で銀賞、「International Cider Challenge 2018」で銅賞、JAPAN CIDER AWARDS 2018」で銅賞をそれぞれ受賞。</p>  <p>ワイン用ブドウの収穫の様子</p>
その他	平成31年度に食農学類を設置する福島大学と連携し、「ワインを通じての地域づくり」講座を平成28年から実施。平成31年度以降はより実践的な内容としていく予定。福島大学食農学類が県内9市町村で行う実践型授業で、郡山市は「ワインを核とした地域農業の活性化」を行うことが決定している。	
URL等	www.ousewinery.jp/	